

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

第3025389号

(45) 発行日 平成8年(1996)6月11日

(24) 登録日 平成8年(1996)3月27日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 9 F 9/00	3 0 3 A	7426-5H		
	3 1 6 A	7426-5H		
H 0 4 Q 7/38				
H 0 4 M 1/02		A		

H 0 4 B 7/26 1 0 9 T

評価書の請求 未請求 請求項の数4 O L (全6頁)

(21) 出願番号 実願平7-12742

(22) 出願日 平成7年(1995)12月1日

(73) 実用新案権者 595169908

株式会社サクセスオリエントワークス
大阪府八尾市永畑町1丁目2番54号

(73) 実用新案権者 595169919

有限会社イーアンドエス
大阪府大阪市北区東天満1-2-14

(72) 考案者 前原 孝一

大阪府大阪市北区東天満1-2-14 有限
会社イーアンドエス内

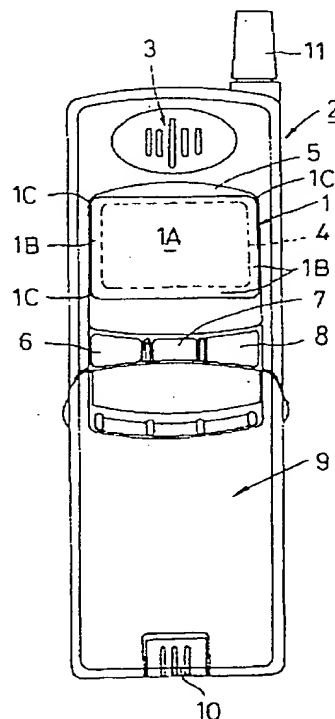
(74) 代理人 弁理士 安田 敏雄

(54) 【考案の名称】 透明表示板の保護板及び携帯電話器

(57) 【要約】

【課題】 携帯電話器のディスプレイ表示板を保護し、すり傷等をなくする。

【解決手段】 携帯電話器2のディスプレイ表示板5に後付けされる透明材料からなる保護板1であって、裏面外周端縁に接着剤12を塗着しておき、前記表示板5に接着する。また、保護板1に拡大レンズ機能を付与し、ディスプレイ情報を拡大して見易くする。



1

2

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 携帯電話器の透明表示板に後付けされる保護板であって、透明材料からなり裏面外周縁に接着剤が塗着され、接着剤の表面に剥離シールが添着されていることを特徴とする透明表示板の保護板。

【請求項2】 拡大レンズ機能を有することを特徴とする請求項1記載の透明表示板の保護板。

【請求項3】 板表面側外周端縁が面取りされて丸みを有することを特徴とする請求項1又は2記載の透明表示板の保護板。

【請求項4】 略四角状の透明板からなり、表面外周端縁が丸く面取りされると共に、拡大レンズ機能を有する保護板が透明表示板に接着されていることを特徴とする携帯電話器。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案携帯電話の実施形態を示す正面図である。

【図2】 図1の右側面図である。

【図3】 本考案保護板の実施形態を示す正面図である。

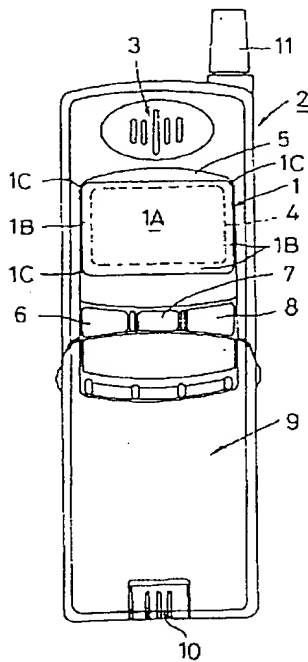
【図4】 図3の上面図である。

【図5】 図3の背面図である。

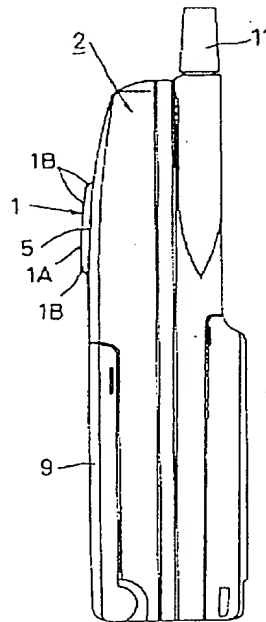
【符号の説明】

- 1 保護板
- 1 A 表面
- 1 B 筒状面（外周端縁）
- 1 D 裏面
- 2 携帯電話器
- 5 ディスプレイ表示板
- 1 2 接着剤
- 1 3 剥離シール

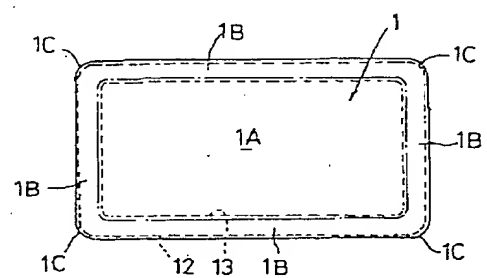
【図1】



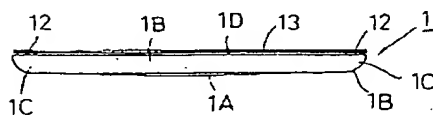
【図2】



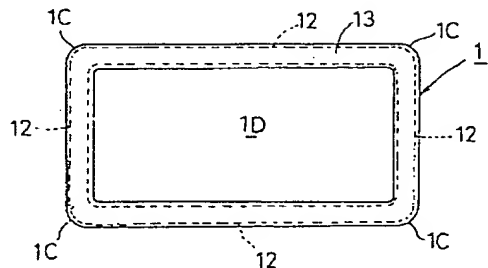
【図3】



【図4】



【図5】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【考案の属する技術分野】

本考案は、携帯電話器の透明表示板の保護板及び携帯電話器に関するものである。

【0002】

【従来技術】

一般に、携帯電話器には、表面側にディスプレイ表示板、ダイヤル等の各種プッシュボタン等が設けられており、各種プッシュボタン等は、開閉自在なカバーにより保護されているが、透明なディスプレイ表示板は露出されている。そして、携帯電話器は、合成皮革、布製などの携帯ケースに入れて持ち歩くことが多く、使用時には前記ケースから取り出して操作している。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】

ところで、前記ディスプレイ表示板は、携帯ケースから取り出したり収納する際に、すり傷が付きやすく、各種情報の表示が見にくくなるという問題がある。しかし、ディスプレイ表示板にすり傷が多くついて見にくくなっても、これだけを交換するとなると多大な手間賃を要し、コスト高となる。

【0004】

本考案は、上述のような実状に鑑みてなされたもので、その目的とするところは、ディスプレイ表示板にすり傷等がつかないようにする保護板及び携帯電話器を提供するにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】

本考案では、上記目的を達成するために、次の技術的手段を講じた。

即ち、本考案保護板は、携帯電話器の透明表示板に後付けされる保護板であって、透明材料からなり裏面外周縁に接着剤が塗着され、接着剤の表面に剥離シートが添着されていることを特徴としている（請求項1）。

【0006】

したがって、保護板の前記シールを剥離し、新品又は使用中の携帯電話器の透明表示板の表面に、保護板の裏面を押し付けることにより、保護板を前記表示板に接着させることができる。

また、本考案保護板は、拡大レンズ機能を有しているので、ディスプレイされた情報が拡大され、非常に見易くなる（請求項2）。

【0007】

さらに、本考案保護板は、板表面側外周端縁が面取りされて丸みを有するので、手等に傷を負うことがないうえ、物に引掛り難く、ケースへの出し入れをスムーズに行うことができる（請求項3）。

そして、本考案に係る携帯電話器は、略四角状の透明板からなり、表面外周端縁が丸く面取りされると共に、拡大レンズ機能を有する保護板が透明表示板に接着されていることを特徴としているので、前記表示板に傷が付かず、ディスプレイが拡大されて見えるので情報の読み取りがし易く、しかも、携帯ケースへの出し入れをスムーズに行うことができる。

【0008】

なお、上記の保護板は、無色透明だけでなく、全体又は一部に着色を施した半透明とすることができる。しかして、本明細書にいう「透明」とは、着色された半透明を含む広義の概念である。

【0009】

【考案の実施の形態】

以下、本考案の実施形態を図面に基づき説明する。

図1、図2は、本考案保護板1が接着された携帯電話器2を示し、該電話器2は、表面に受話口3、ディスプレイ表示部4を覆う透明なガラス又は合成樹脂製のディスプレイ表示板5、通話等の各種操作ボタン6、7、8、電源ボタン（図示省略）、ダイヤルボタン等の開閉カバー9及び送話口10を備え、上端部に出退自在のアンテナ11を備えている。

【0010】

そして、前記表示板5には、前記保護板1が接着されている。

保護板1は、傷の付きにくい透明な合成樹脂板から成り、図3～図5に示すよ

うに横長の略四角形状を呈し、各角隅1Cが丸められると共に、表面1A外周端縁が面取りされて丸みのある筒状面1Bとされており、しかも表面1Aが中央部に向かって若干膨出されて拡大レンズ機能が付与されていて、ディスプレイ情報(数字、文字等)が拡大されて読み取り易くなっている。

【0011】

さらに、前記保護板1の裏面1Dには、外周端縁にディスプレイ表示を邪魔しないように、接着剤12が所要の幅で塗着され、接着剤12の表面に剥離シール13を添着して、該接着剤12に不要な物等が接着しないようにしてあり、該保護板1をディスプレイ表示板5に接着する際に、前記シール13を剥がして、保護板裏面1Dを前記表示板5に押し付けることにより簡単に接着することができる。

【0012】

なお、前記接着剤12は、粘着性のもので容易に剥離できないが、強力で剥がすことにより保護板1を離脱できるものが好ましい。そして、保護板1を取替え可能にすることにより、万一、保護板表面1Aにすり傷が生じた場合に、新しい保護板1と交換することができる。

本考案は、上記実施形態に限定されるものではなく、例えば、保護板の形状を長円形又はだ円形等とすることができ、また、材質としてガラスを採用でき、電話器本体は開閉カバーのない他形式のものにも適用可能である。

【0013】

【考案の効果】

本考案は上述のように、携帯電話器の透明表示板に後付けされる保護板であって、透明材料からなり裏面外周縁に接着剤が塗着され、接着剤の表面に剥離シールが添着されていることを特徴とするものであるから、ディスプレイ表示板を保護して傷の発生を防止し、ディスプレイ情報の読み取り障害をなくすことができ、新品はもとより使用中の携帯電話器にも簡単に接着することができる(請求項1)。

【0014】

また、請求項2記載の考案によれば、拡大レンズ機能を具備しているので、デ

ィスプレイ情報が拡大され、読み取り易くなり使い勝手が良くなる。

請求項3記載の考案によれば、板表面側外周端縁が面取りされて丸みを有するので、手などが負傷することがなく、物に引掛かり難いので、携帯ケースへの出し入れをスムーズに行うことができる。

【0015】

そして、請求項4記載の考案によれば、略四角状の透明板からなり、表面外周端縁が丸く面取りされると共に、拡大レンズ機能を有する保護板が透明表示板に接着されていることを特徴とするものであるから、携帯電話器のディスプレイ表示板に傷が付くのを防止して、その機能を十分に発揮させることができ、しかもディスプレイ表示が拡大されて見易くなる。